

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場会社名 株式会社日本触媒

上場取引所 東大

コード番号 4114 URL <http://www.shokubai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 近藤忠夫

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 内海勝議

TEL 06-6223-9111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月9日

配当支払開始予定日

平成21年12月7日

(百万円未満は四捨五入して表示)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	113,598	△34.0	5,893	1.3	6,554	△8.4	3,963	92.9
21年3月期第2四半期	172,088	—	5,820	—	7,154	—	2,054	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	22.26	—
21年3月期第2四半期	11.41	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	310,479	158,542	49.8	868.93
21年3月期	302,948	151,662	48.8	831.11

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 154,668百万円 21年3月期 147,944百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8.50	—	7.00	15.50
22年3月期	—	7.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	△18.7	13,000	—	13,000	—	8,200	—	46.07

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、6ページ「[定性的情報・財務諸表等] 4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	187,000,000株	21年3月期	187,000,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	9,002,017株	21年3月期	8,991,929株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	178,002,857株	21年3月期第2四半期	180,054,770株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、5ページ「[定性的情報・財務諸表等] 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## [定性的情報・財務諸表等]

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産など一部に持ち直しの動きが見られるものの、雇用情勢の急速な悪化や設備投資の減少などにより、先行きが不透明ななかで推移しました。

化学工業界におきましては、中国など新興国での需要が拡大したものの、急激な円高や原料価格の高騰などにより、引き続き厳しい事業環境のなかで推移しました。

## (1) 全体の状況

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減		前連結会計年度
			(金額)	(伸び率)	
売上高	172,088	113,598	△ 58,489	△ 34.0%	289,102
営業利益	5,820	5,893	74	1.3%	622
経常利益	7,154	6,554	△ 599	△ 8.4%	757
四半期(当期)純利益	2,054	3,963	1,909	92.9%	△ 5,307
1株当たり四半期(当期)純利益	11.41円	22.26円	10.85	95.1%	△ 29.61円
ROA(総資産経常利益率)	4.1%	4.3%	—	0.2ポイント	0.2%
ROE(自己資本当期純利益率)	2.4%	5.2%	—	2.8ポイント	△ 3.3%
為替(\$、EUR)	\$=¥106.12 EUR=¥162.80	\$=¥95.55 EUR=¥133.21		¥△10.57 ¥△29.59	\$=¥100.58 EUR=¥143.66
ナフサ価格	78,400円/kl	37,300円/kl		△41,100円/kl	58,900円/kl

(注) 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、世界的に需要が伸び悩むなかで販売数量が減少し、さらには、大幅な原料価格安、需給バランスの緩み、円高等によって製品価格も大幅に低下したため、前第2四半期連結累計期間に比べて584億8千9百万円減収(△34.0%)の1,135億9千8百万円となりました。

利益面につきましては、製造経費、販売費および一般管理費等の各種経費削減を推し進め、より一層の収益改善に取り組んだ結果、製品価格低下や生産・販売数量減少等の減益要因を概ねカバーし、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べて7千4百万円増益(1.3%)の58億9千3百万円となりました。

経常利益は、営業外損益が金融収支の悪化や技術料収入の減少、さらには資産売却益の減少等により前第2四半期連結累計期間に比べて6億7千3百万円減益となったため、5億9千9百万円減益(△8.4%)の65億5千4百万円となりました。

四半期純利益は、前第2四半期連結累計期間に計上した特別損失(投資有価証券評価損等)がなくなったことにより、前第2四半期連結累計期間に比べて19億9百万円増益(92.9%)の39億6千3百万円となりました。

## (2) セグメント別の概況

## ◎事業の種類別

## [基礎化学品事業]

アクリル酸およびアクリル酸エステルは、原料価格安や需給バランスの緩み、円高等により販売価格が低下したため、減収となりました。

酸化エチレンおよび高級アルコールは、販売数量が減少し、原料価格安に連動して販売価格も低下したため、減収となりました。

エチレングリコールおよびエタノールアミンは、需給バランスの緩み等によって、販売価格、販売数量共に低下したため、減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べて37.4%減少し、450億1百万円となりました。

営業利益は、各種経費削減を進めたものの、生産・販売数量減少や製品価格低下等の影響が大きかったため、前第2四半期連結累計期間に比べて、38.1%減少し、21億9千万円となりました。

## [機能性化学品事業]

高吸水性樹脂は、原料価格安や円高等により販売価格が低下したことに加えて、販売数量も減少したため、減収となりました。

コンクリート混和剤用ポリマー、特殊エステル、無水マレイン酸、洗剤原料および樹脂改質剤は、販売数量の減少に加えて、原料価格安等により販売価格も低下したため、減収となりました。

粘接着剤・塗料用樹脂、粘着加工品および よう素化合物は、販売数量が減少したため、減収となりました。

電子情報材料は、光学フィルム用材料等の販売数量が増加したことにより、増収となりました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べて21.0%減少し、636億3千4百万円となりました。

営業利益は、生産・販売数量が減少したものの、原料価格安や各種経費削減等による収益性の改善が進んだことにより、前第2四半期連結累計期間に比べて143.1%増加し、40億5千6百万円となりました。

## [環境・触媒事業]

自動車触媒は、販売数量の減少に加えて、貴金属価格安に連動して販売価格も低下したため、大幅な減収となりました。

プロセス触媒および脱硝触媒は、販売数量が減少したため、減収となりました。

排水処理触媒は、ほぼ前第2四半期連結累計期間並みに推移しました。

以上の結果、環境・触媒事業の売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べて74.7%減少し、49億6千4百万円となりました。

営業利益は、プロセス触媒等の生産・販売数量減少の影響が大きかったため、前第2四半期連結累計期間に比べて14億3千4百万円減少し、3億6千7百万円の赤字となりました。

## ◎所在地別

## [日本]

需要低迷による販売数量の減少に加えて、原料価格安等により製品価格も低下したため、売上高は前第2四半期連結累計期間に比べて36.4%減少し、800億1千2百万円となりました。

営業利益は、各種経費削減を進めたものの、生産・販売数量減少や製品価格低下等の減益要因をカバーし切れなかったため、前第2四半期連結累計期間に比べて20.1%減少し、49億2百万円となりました。

## [欧州]

高吸水性樹脂の販売数量が減少し、原料価格安や円高等により販売価格も低下したため、売上高は前第2四半期連結累計期間に比べて25.2%減少し、165億4千9百万円となりました。

営業利益は、原料価格安等で収益性が改善したことにより、前第2四半期連結累計期間に比べて3億3千7百万円増加し、3億2千1百万円となりました。

## [アジア]

コンクリート混和剤用ポリマー、アクリル酸およびアクリル酸エステルの販売数量は増加したものの、高吸水性樹脂の販売数量が減少し、さらには、原料価格安や円高等により販売価格も低下したため、売上高は前第2四半期連結累計期間に比べて34.9%減少し、101億1千5百万円となりました。

営業利益は、高吸水性樹脂の生産・販売数量減少の影響が大きかったため、前第2四半期連結累計期間に比べて60.8%減少し、1億1千万円となりました。

## [その他の地域]

高吸水性樹脂は販売価格の是正を進めたものの、販売数量減少の影響が大きかったため減収となりました。コンクリート混和剤用ポリマーは販売数量が減少し、さらには、原料価格安や円高等により販売価格も低下したため減収となりました。一方、洗剤原料はほぼ前第2四半期連結累計期間並みに推移しました。その結果、売上高は前第2四半期連結累計期間に比べて20.5%減少し、69億2千2百万円となりました。

営業利益は、販売価格の是正や原料価格安等により高吸水性樹脂の収益性が改善したことで、赤字から黒字に転換し、3億4百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べて75億3千1百万円増加の3,104億7千9百万円となりました。たな卸資産は減少したものの、有形固定資産や投資有価証券が増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて6億5千1百万円増加の1,519億3千8百万円となりました。借入金は減少したものの、仕入債務が増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて68億8千万円増加の1,585億4千2百万円となりました。利益剰余金やその他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定が増加したことなどによるものです。

自己資本比率は、前連結会計年度末の48.8%から49.8%へと1.0ポイント増加しました。なお、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末に比べて37.82円増加の868.93円となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローが、設備投資等の投資活動によるキャッシュ・フローの支出及び借入返済等の財務活動によるキャッシュ・フローの支出を上回ったため、前連結会計年度末に比べて26億7千7百万円増加の321億2千8百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の28億2千6百万円の収入に対し、250億4千8百万円の収入となりました。たな卸資産の減少や仕入債務の増加及び法人税等の還付などによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の83億1千9百万円の支出に対し、131億8千2百万円の支出となりました。有形固定資産の取得による支出が増加したことなどによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の7億4千7百万円の収入に対し、95億1千6百万円の支出となりました。借入金返済による支出が増加したことなどによるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

わが国経済は、緩やかながら景気回復の兆しが見られ最悪期を脱した感はあるものの、世界的な景気停滞を背景に当面は厳しい状況が続くものと予想されます。

化学工業界におきましては、本格的な需要拡大が見込み難いなかで、原油価格の上昇や円高の進行等も懸念され、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループの通期の業績は、売上高2,350億円[下期1,214億円]、営業利益130億円[下期71億円]、経常利益130億円[下期65億円]、当期純利益82億円[下期42億円]を見込んでおり、前回予想から売上高は下方修正、利益は上方修正しております。

下期の業績予想につきましては、為替レートを90円/米ドル、120円/ユーロとし、ナフサ価格を43,000円/キロリットルを前提としております。厳しい事業環境のもと、引き続き各種経費削減を推進するとともに、原料価格動向等に応じた製品価格の実現や販売促進にも努めて参ります。

なお、事業セグメント別の通期業績予想は以下の通りであります。

(億円)

	基礎化学品事業		機能性化学品事業		環境・触媒事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
上期実績	450	22	636	41	50	△ 4
下期予想	490	23	644	44	80	4
通期予想	940	45	1,280	85	130	0

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

## ① 会計基準等の改正に伴う変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。なお、セグメント情報に与える影響は軽微であるため、記載を省略しております。

## ② 表示方法の変更

前第2四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めておりました「不動産賃貸料」(前第2四半期連結累計期間501百万円)は、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,327	29,925
受取手形及び売掛金	56,213	52,904
商品及び製品	20,770	21,363
仕掛品	6,663	7,068
原材料及び貯蔵品	11,340	13,930
その他	9,435	12,961
貸倒引当金	△213	△251
流動資産合計	136,535	137,900
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	42,585	45,382
その他(純額)	82,940	74,103
減損損失累計額	△3,084	△3,031
有形固定資産合計	122,441	116,454
無形固定資産		
のれん	1,613	1,848
その他	2,363	2,140
無形固定資産合計	3,976	3,987
投資その他の資産		
投資有価証券	31,651	27,988
その他	16,198	16,944
貸倒引当金	△322	△324
投資その他の資産合計	47,527	44,607
固定資産合計	173,944	165,048
資産合計	310,479	302,948
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,723	23,196
短期借入金	26,394	28,950
1年内返済予定の長期借入金	9,185	12,614
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	544	405
引当金	4,521	4,164
その他	11,747	12,514
流動負債合計	89,113	86,842
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	36,938	38,775
退職給付引当金	8,478	8,465
その他	2,408	2,205
固定負債合計	62,824	64,444
負債合計	151,938	151,286

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,529	16,529
資本剰余金	13,562	13,562
利益剰余金	135,495	132,778
自己株式	△7,977	△7,970
株主資本合計	157,609	154,900
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,088	41
繰延ヘッジ損益	△95	△155
為替換算調整勘定	△4,935	△6,842
評価・換算差額等合計	△2,941	△6,955
少数株主持分	3,874	3,717
純資産合計	158,542	151,662
負債純資産合計	310,479	302,948

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	172,088	113,598
売上原価	146,604	91,030
売上総利益	25,483	22,568
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	7,752	5,869
人件費	3,486	3,456
研究開発費	5,473	4,861
その他	2,953	2,490
販売費及び一般管理費合計	19,664	16,675
営業利益	5,820	5,893
営業外収益		
受取利息	124	84
受取配当金	523	265
持分法による投資利益	619	634
受取技術料	437	207
不動産賃貸料	—	504
その他	1,464	419
営業外収益合計	3,167	2,114
営業外費用		
支払利息	739	679
為替差損	433	243
その他	661	531
営業外費用合計	1,833	1,453
経常利益	7,154	6,554
特別損失		
投資有価証券評価損	1,974	—
損害賠償金	246	—
特別損失合計	2,221	—
税金等調整前四半期純利益	4,933	6,554
法人税、住民税及び事業税	2,006	294
法人税等調整額	774	2,233
法人税等合計	2,779	2,527
少数株主利益	100	65
四半期純利益	2,054	3,963

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,933	6,554
減価償却費	9,036	7,713
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,974	—
損害賠償損失	246	—
受取利息及び受取配当金	△648	△349
支払利息	739	679
持分法による投資損益 (△は益)	△619	△634
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,476	△2,869
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,673	4,190
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,003	7,963
その他	882	206
小計	6,398	23,452
利息及び配当金の受取額	1,558	804
利息の支払額	△739	△803
損害賠償金の支払額	△246	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,006	1,595
その他の支出	△1,138	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,826	25,048
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△9,325	△13,185
投資有価証券の売却による収入	598	2
その他	408	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,319	△13,182
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,850	△2,797
長期借入れによる収入	615	300
長期借入金の返済による支出	△3,709	△5,736
配当金の支払額	△1,448	△1,246
少数株主への配当金の支払額	△18	△16
自己株式の取得による支出	△1,536	△9
その他	△7	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	747	△9,516
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56	327
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,802	2,677
現金及び現金同等物の期首残高	21,371	29,450
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,569	32,128

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## ①事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	基礎化学品 (百万円)	機能性化学品 (百万円)	環境・触媒 (百万円)	合計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	71,915	80,555	19,617	172,088	—	172,088
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,809	1,015	1,613	22,437	(22,437)	—
計	91,725	81,570	21,230	194,525	(22,437)	172,088
営業利益又は営業損失(△)	3,536	1,668	1,066	6,271	(452)	5,820

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	基礎化学品 (百万円)	機能性化学品 (百万円)	環境・触媒 (百万円)	合計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	45,001	63,634	4,964	113,598	—	113,598
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,546	633	692	10,870	(10,870)	—
計	54,546	64,267	5,656	124,469	(10,870)	113,598
営業利益又は営業損失(△)	2,190	4,056	△ 367	5,878	15	5,893

(注) 1 事業区分は、事業の種類・性質の類似性等を勘案して決定しております。

2 各事業区分の主な製品

- (1) 基礎化学品事業 アクリル酸、アクリル酸エステル、酸化エチレン、エチレングリコール、エタノールアミン、高級アルコール、グリコールエーテル
- (2) 機能性化学品事業 高吸水性樹脂、医薬中間原料、コンクリート混和剤用ポリマー、電子情報材料、よう素、無水マレイン酸、粘接着剤・塗料用樹脂、樹脂成形品、粘着加工品
- (3) 環境・触媒事業 自動車触媒、脱硝触媒、ダイオキシン類分解触媒、プロセス触媒、排ガス処理装置

## ②所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	合計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	125,730	22,114	15,536	8,707	172,088	—	172,088
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,473	36	880	204	19,593	(19,593)	—
計	144,203	22,151	16,415	8,911	191,681	(19,593)	172,088
営業利益又は営業損失(△)	6,139	△ 16	281	△ 1,014	5,390	429	5,820

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	合計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	80,012	16,549	10,115	6,922	113,598	—	113,598
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,243	41	56	38	11,377	(11,377)	—
計	91,255	16,590	10,171	6,959	124,976	(11,377)	113,598
営業利益又は営業損失(△)	4,902	321	110	304	5,638	255	5,893

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州 ……………ベルギー

(2) アジア ……………シンガポール、インドネシア、中国

(3) その他の地域 北米……………米国

## ③海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	28,332	24,782	11,895	9,345	74,354
II 連結売上高(百万円)					172,088
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	16.5	14.4	6.9	5.4	43.2

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	19,303	18,524	9,486	7,312	54,625
II 連結売上高(百万円)					113,598
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	17.0	16.3	8.4	6.4	48.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア ……………東アジア及び東南アジア諸国

(2) 欧州 ……………ヨーロッパ諸国

(3) 北米 ……………北アメリカ諸国

(4) その他の地域 ……………アジア、欧州、北米及び本邦を除く国又は地域

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計金額であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。